

平成25年度第2回美浜区公民館運営審議会議事録

- 1 会議の名称 平成25年度第2回美浜区公民館運営審議会
- 2 日 時 平成26年3月24日（月）午後2時～4時30分
- 3 場 所 稲浜公民館 本館 2階研修室
- 4 出席者 (委員：9人)
池田謙司委員長 三村澄江副委員長、堀内孝次委員、平野重雄委員
蟹江将生委員、小椋政子委員、西村侑身子委員、大橋美枝子委員
伊藤緑委員
(事務局：8人)
立石稲浜公民館長(中核館)、塩瀬幕張西公民館長、秋元磯辺公民館長
嶋野幸町公民館長、土屋高浜公民館長、山本打瀬公民館
村杉稲浜公民館副館長、中古稲浜公民館主査

5 議 題

- (1) 平成25年度利用状況報告について
- (2) 平成25年度事業報告について
- (3) 平成26年度事業計画について
- (4) その他
・公民館のあり方

6 議事の概要

議事の前に、委員の過半数出席により、本会議が成立していることを事務局より報告した。
また、委員の互選により議事録署名人を小椋委員と堀内委員とした。

経過

- (1) 平成25年度各公民館の利用状況について
 - ①公民館利用状況
 - ②公民館図書室運営状況資料に基づき中核公民館館長が説明し了承された。
- (2) 平成25年度事業報告について
資料に基づき中核公民館副館長及び各地区館館長が説明し異議なく了承された。
- (3) 平成26年度事業計画について
資料に基づき中核公民館副館長及び各地区館館長が説明し異議なく了承された。
- (4) その他
 - ①公民館のあり方について生涯学習振興課が説明した。

7 会議の経過

議題の審議

委員長 質問は、議題(1)平成25年度利用状況報告後と、議題(2)平成25年度事業報告～議題(3)平成26年度事業計画の一括説明後にお受けすることとします。
それでは、議題(1)平成25年度利用状況報告について事務局より説明願います。

事務局 議題(1)平成25年度利用状況報告について、会議資料に沿って中核公民館館長が説明する。

委員長 議題(1)について委員の意見、質問を求める。

委 員 公民館利用者が前年度に比べ後退している中で、幸町では新規のサークル団体が3団体増えているが、他の公民館ではサークル団体の新たな結成は見られるか。

また、公民館図書室運営状況にある資料費決算額は、途中経過の数値であり、最終的な決算は全館満額の26万円ということですね。

図書室の利用も後退している。これは活字離れなどの影響があると思われる。
市民配布モデル事業により個別に自治会が市政だよりを配布する事業も始まったが、新聞購読もどんどん減り、市政だよりも新聞織り込みでの配布もなかなか行き着かない状況にある。

このような状況の中、図書室のリクエスト処理件数を見ると相当の落ち込みが見られるが、やはり予算不足により魅力のある図書、新刊の購入がされていないことがその要因と思われる。

3年ぐらい前に、当審議会でも教育委員会に要望をした結果、各館100万円ぐらいの予算措置が取られたことがあったが、来年度の予算はどのような見通しなのか伺いたい。

事務局 新規に結成されたサークル団体数ですが、稲浜公民館では新規の団体登録が7件あり、内訳は、スポレク関連のサークルが2団体、残りは文科系です。活動が継続できない団体から休会の申し出が2件あり、差し引き5件の増加となっております。

次に図書購入費については、審議会の後押しもあり若干ではありますが増加になっております。各館30万円まではいきませんが3万7千円ほど増えております。予算削減傾向にあったものを多少なりともアップすることができました。

各館の新規サークル団体の結成状況については、各館長より報告いたします。

事務局 幸町公民館でも新規団体の結成がありました。内訳は、料理サークル、体操サークル、最近流行の骨盤体操サークルです。

高浜公民館では、親子3B体操とそば打ち入門という主催事業から2つの新しいサークルが結成されました。その他、3B体操と書道サークルも増えたので新規サークルは4団体

増えております。ただし、活動をやめた団体も2団体あったため、実質2サークル団体の増となっております。今後は、自主事業を充実させサークル団体を増やしていく方向にし、今現在活動しているサークル団体の方を講師に招くなど予算のかからない講座を展開していくことを検討しています。

打瀬公民館では4サークル団体が出来ました。主催事業から親子関係サークルとパン作りの2つのサークル団体が発生しました。ヨガのサークル団体が2団体増えましたが、高齢者向けの団体が講師の高齢化により廃止となりました。当館では近隣に地域センターができたことから、今まで利用していた自治会関係がそちらで活動するようになったため、利用団体が減少しております。また、クラブ参加者数も減少傾向を示しています。これはクラブ参加者の高齢化によるものと推察しております。

幕張西公民館では、そば打ちサークル団体と、子供対象のサークル団体の2団体が増え、若い母親を対象としていたサークル団体が、講師の高齢化により解散となりました。

磯辺公民館では、地域の卓球サークル団体が2団体と、体操サークル団体が増えておりますが、各サークル団体の参加者は高齢化しており減少傾向にあります。

委 員 後ほど各館の事業報告があると思いますので、その際にいくつか質問をしたいと思います。サークル団体は各館とも微増している状況にあるようですが、公民館の主催事業から発生した自主的なサークル団体がみられるのは、公民館の職員が先頭に立って助言をし、お手伝いをしながらスタートさせているのではないかと推察できます。引き続き職員の方々のお手伝いをよろしくお願いいたしますと思います。

委員長 それでは、議題（2）平成25年度事業報告 議題（3）平成26年度事業計画について、事務局より説明願います。なお、議題（3）平成26年度事業計画については、平成25年度事業と変更のある事業のみの説明をお願いします。

事務局 議題（2）平成25年度事業報告 議題（3）平成26年度事業計画について、会議資料に沿って中核公民館副館長及び各地区公民館館長が説明する。

委員長 議題（2）（3）について委員の意見、質問を求める。

委 員 予算の状況並びに講師の手配など相当苦勞をして事業を進めていることがうかがえるが、この予算については各館同額なのか教えてください。

事務局 稲浜公民館が184,800円。他の5館は124,800円です。

委 員 稲浜公民館は中核館なので他の地区館より多くなっているのは、他の公民館のバックアップをするなど必要な経費と思われ、他の館との差は仕方がないと思うが、主催事業を各公民館の平均で割ると、14から15講座になりますが1講座当たり8,000円の謝礼となり、その金額での講師派遣が困難となると、企業の地域貢献活動や、官公庁の職員への依頼をするなど知恵を絞って、これだけの講座開催を確保しているのだらうと思う。

私も公民館事業は25年間携わっており、当初は講師の選択も目的に合わせて比較的容易にできたが、この事業報告を見ると相当きつい状況と思われるが、次年度はどのような予算の配分になるのか伺いたい。また、報償費の上限は講師により違うのかも伺いたい。

これには関連はしないが、昨年からインターネットによる予約ができるようになりましたが、これは公民館が市の施設ですので、誰でもどこからでも予約が出来るようにとのことから導入したものと思われませんが、各館インターネットによる申し込み状況がどのようになっているのか伺いたい。

調理室は現在、湯沸し器がない状況であり、常々設置のお願いをしているところですが、状況的にはいかがなものか、年次計画を立てて設置の方向を出すことができるのか、何かの手立てがあるのかお聞きしたい。

事務局 次年度予算の見通しとの質問ですが、微増ではございますが増えております。

稲浜公民館では、子育て関係事業に対し、子育てサポーターの方が4人から5人に増えることから、60,000円から88,000円に増えております。

次に報償費の増減についてですが、委員もご承知のとおり講座により1日2時間で終了するような講座や、1日2時間で4日間かかるような講座によりまして講師謝礼が変わってまいります、1日であれば7,000円から8,000円で済むような状況です。保健センターや企業の地域貢献事業への応募など、謝礼の発生しないような形で事業の活性化を図っているというのが各館の実態でございます。

また、湯沸し器の件ですが、設置に関しては施設が古いため、配管が外回しでの施工であり、費用が大変掛かることから難しいものと考えております。

次にインターネットの利用状況ですが、昨年の10月末から導入されましたが、当初は磯辺、幸町、打瀬の3地区に関しては多くの予約が入っていましたが、11月、12月と月を経る毎にインターネットでの予約は減少しております。稲浜公民館で月に2～3件、幸町公民館では5件ないし6件の予約状況であります。

しかしながら、打瀬地区は、窓口よりも自宅からのインターネット予約がほとんどでございます。抽選予約が月に80～90件で、抽選結果により30件が利用しておりますが、これはコマ数でございますので、大体月に15件程度ではないかと考えております。また、先着予約もインターネットにより予約をしており、打瀬地区は普及しているのではないかと考えております。

委員 インターネットでの予約は、打瀬地区が一番活発ということは住民の年齢層と職種の環境にもよるといことですね。

事務局 現在、情報機器の種類が多様化されていることから、それぞれの機種の手取り扱いについての質問を多数され、導入当初は、職員がその対応に大変苦慮しました。

事務局 事業費予算については、市長部局と事業を共催するなどの試みにより、市長部局の予算で事業を推進するべく検討していきたいと考えております。

委員 年間12万円足らずの予算のため、ボランティアとか企業の地域貢献を活用するなど、各館とも工夫しながら多くの事業を構築している状況にあるにも拘わらず、新たなサークルの発生も少なく、公民館利用の促進にもなかなか結び付くことが難しいという現状を知ることができました。

美浜区内の各公民館の事業は、それぞれの地区の特色を持たせ、競合することのない事業展開を行っていく必要があると思います。その際には、費用の負担が参加の障害とならないように配慮するとともに、事業対象者が参加しやすい時期に講座を開催するなどの工夫が必要に思います。私の所属する団体が事業を計画するときは、夏休みの子供を対象とする事業を進める場合は、休みに入ってすぐの時期に設定するなど、多くの参加が見込めるよう工夫をしております。

以上感想を言わせていただきました。

委員長 美浜区内の各公民館の音響機材の貸し出しについてはどのようなになったのか。

事務局 音響機器の相互利用については、現在も実施しております。予算の制約がある以上、備品が用意できないことにより、利用者の迷惑とならないように美浜区内公民館内での相互利用協力をしているところです。

委員長 議題（４）の「その他」ですが、事務局から何かありますか。

事務局 生涯学習振興課より、今後の公民館のあり方について委員の皆様にご説明したいとの話があり、職員が待機しております。貴重なお時間ではございますが、公民館活動に係る大切な内容となりますのでご了解ください。

生涯学習振興課 公民館のあり方について、公民館を取り巻く環境、目指す方向性、現状と課題について説明するとともに、今後の管理運営主体のあり方として、現在の市の直営方式を見直し、平成28年度より、公益財団法人千葉市教育振興財団による管理運営に移行することを基本に検討を進めていることを説明。

また、併せて、適正な受益者負担の導入や、合意形成や組織体制の整った地域については、地域と同財団の連携による管理運営も同時に検討していることを説明。

委員長 議題（４）「その他」について委員の意見、質問を求める。

委員 ただいまの説明だと本質的に何が言いたいのがわからない。

生涯学習振興課 一番お伝えしたいのは、現在千葉市が直営で行っている公民館管理運営を平成28年から千葉市の教育振興財団に管理運営を任せることの検討を進めていることをお伝えしたい。

委員 経過報告はいらない、本質的なことを先に言うべきである。

委 員 私は説明の仕方として、まずは公民館を取り巻く背景を説明してから、本質的な説明をされた方が、解りやすく親切で良いと思います。委員それぞれに考え方も違いますが、私は背景を説明して本題に入ることの良いと思います。

委 員 前回の運営審議会で指定管理者の方向性については、私からいろいろな意見を申し上げましたので、その辺は生涯学習振興課に伝わっていると思いますが、現在も非常に事業費を節約しているなかで、指定管理者に移行して十分に今以上のサービスが提供できるかどうかということであり、当然そうすべきであるということを保証してもらいたいということを強くお願いしたい。

市民ニーズが変わってきていることも説明のとおりだと思う。かつては親睦などのニーズが非常に強かったのだけれども、地域の課題だとかニーズが生活に直結した要望が非常に強くなっている。説明のとおりだと思う。

ただし、今後、財団の職員が各公民館で事業を進めるにあたって職員配置は2名ないし3名だと思われるが、十分に今の状況よりもよくなることをお願いしたい。

指定管理者に移行することによって、財政負担がどのようになるのかを聞きたいが、まだその段階まで入っていないであろうから、次の段階でいろいろ聞きたいと考えている。

委員長 これをもちまして、平成25年度第2回美浜区公民館運営審議会を終了させていただきます。長時間に渡りありがとうございました。

問合せ先

千葉市教育委員会生涯学習部稲浜公民館

TEL：247－8555